

## SCHOOL DATA

〒277-0085 柏市中原 1821-1  
 TEL.04-7164-4335 FAX.04-7166-1912  
 ■児童数 / 826人 ■教職員数 / 56人 ■周辺環境 / 雑木林、宅地

平成 22 年  
 5 月 1 日現在



児童による田んぼの増設作業



マコモの植え付け作業

## ビオトープの概要

- 場所 / 学校敷地内
- 面積 / 180㎡
- 設置者 / 学校
- 設置した年 / 2010年
- 主な管理者 / 中原小ビオトープ実行委員会

### 【生息している動物】

ギンヤンマ、ショウジョウトンボ、シオカラトンボ、ノシメトンボ、メダカ、スジエビ、モツゴ、ヨシノボリ

### 【生育している植物】

マコモ、ガマ、ガシャモク、ササバモ、ヤナギモ、セキショウモ、コウホネ、ヒツジグサ、オモダカ、オオアカウキクサ

### <コンセプト>

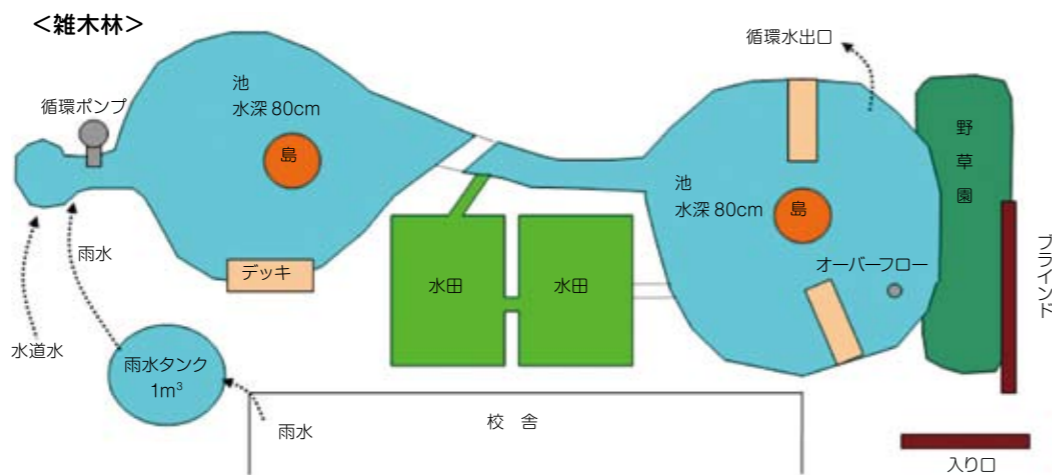
本校は柏市の中心街から数kmしか離れていない住宅街の中にありながら、周辺には比較的、雑木林が残されている。また、市内には手賀沼の一部が含まれ、児童や保護者の自然に対する関心は比較的高い。学校としても、4、5、6年で1～2泊のネイチャースクールを実施し、環境学習に力を入れている。とはいえ、都市部の学校なので、身近にある豊かな自然に触れることは極めて少ないのが児童の実態である。

そこで、校内にビオトープを作り、身近に自然にふれられる場を作ることとはとても有意義であると考え、試行錯誤しながら、より良いビオトープを目指し努力している。トンボを中心としたビオトープとし、ガシャモクなどの沈水植物も植え、きれいだった頃の手賀沼の姿の再現に努力しており、水田などもそなえた里山の自然が観察できるようになっている。また、雨水を利用して環境問題にも配慮している。

ボランティア活動として、地域、保護者の人々にも参加して頂き、開かれた親しまれるビオトープにしようと努力している。

### 【今後生息・生育させたい生物】

主として、トンボ類の充実に努力していきたい。



児童手作りの入口とブラインドをかねた看板



## ビオトープの活用方法

### ■児童

- ・学習活動の中で、折にふれて観察や活動させたり、休み時間には自由に観察させている。
- ・ビオトープ委員会として活動させている。

### ■地域住民

- ・ボランティア活動として参加していただき、観察会、勉強会、環境整備を充実していく。

## ビオトープの効果

### ■児童への効果

- ・実物の動植物にふれさせる事や、稲作体験などにより、体験学習させることができる。自然への興味、関心を深めさせることができる。命の尊さを学ばせることができる。

### ■教職員への効果

- ・自然への興味、関心を深め、動植物、生態系などの知識を深められる。子どもたちの指導に役立てることができる。

### ■保護者・地域住民への効果

- ・ボランティア活動として参加していただくことにより、地域の人々に学校に対する関心、理解を深めていただくことができる。

### ■その他、期待される効果

- ・地域の自然環境の保持に貢献できる。
- ・情操教育の場として活用できる。



全体の様子

## 保護者・地域との連携

### ■保護者・地域住民

- ・ボランティア活動として参加していただき、ともに活動していく予定で、現在参加者を募集中である。

## 整備・活用・管理等の課題

- ・学習の中で、どのような活用ができるか考えていく必要がある。

## 今後の展望

- ・田んぼをもう一つ設置し里山の自然に近づけたい。
- ・雨水をより有効に活用するために1㎡のタンクをもう1器増設したい。
- ・環境学習等に積極的に活用して行きたい。

## 整備担当者(教員、児童、保護者等)から

- ・配管のつなぎ目から少量の漏水があり、雨水と水道水の追加で対応しているが常に注意している必要がある。
- ・アオミドロの発生が見られ、適宜その排除が必要である。
- ・カラスのたまり場になりやすい。



水の館の方による採取作業の見学